

一般質問



今定例会では、二十七名の議員が一般質問を行いました。発言した全議員の質問及び答弁の一部要約を発言順に掲載します。

問と答の後は、各議員が今定例会で質問した表題(問)を掲載しました。質問した表題は、紙面の都合上、通告事項を要約したものととなっております。

一般質問の詳細や、過去の質問は、会議録でご覧いただけます。会議録は図書館、出張所、議会ホームページ等で閲覧できます。

今定例会の会議録は、図書館等では二月下旬頃から、議会ホームページ上では四月上旬頃から閲覧できます。

○会議録をご覧ください

・市役所六階 議会事務局

・市役所東庁舎一階 情報公開窓口

・市立図書館(三館)

・出張所(十箇所)

市税等収納率向上策

P川越21 石川 智明

問 平成十八年度末の市税等滞納額は約百五億円、市税等収納率向上対策推進本部の取り組みとして課毎に目標値を定め実施計画を作るべきでは。

答 市税をはじめ、使用料や負担金などの収納率向上のため、「川越市市税等収納率向上対策推進本部」を設置し、現在は作業チームにおいて収納マニュアル作成に取り組んでいるところである。

今後については、作成したマニュアルを基にそれぞれの部署で債権の収納方針や目標値を定め、未収金の回収に向け取り組んでいきたい。

問 市税等収納状況

問 各種基金の状況

市民体育館について

P川越21 小林 薫

問 川越市スポーツ振興審議会及び地元自治会から要望さ

れている「新設市民体育館」の建設についての考えを伺いたい。

答 体育館の新設については、体育協会などを通して、多くの市民から沢山の要望をいただいている。

利用する方々が便利に使える実用的な施設を造りたいと思うが、建設にあたっては、市民グラウンドの一部を売却し、その資金で新しい体育館とグラウンドを造ってはどうか、という議員からの提案も貴重な意見として検討の上、適当な施設を建設したいと考える。

問 北部市街地の諸問題

予防指導の職員体制

P川越21 倉嶋 美恵子

問 予防を重視した小鹿野町は後期高齢者医療保険料が減額される。予防指導の保健師数が川越は中核市で最低である。今後の職員体制を伺う。

答 平成二十年度から四十歳から七十四歳の特定健診に合わせ特定保健指導が保険者に義務づけられる。

保険者としての国民健康保険に義務づけられる特定保健指導は川越市総合保健センタ

ーで実施する予定であり、市としても保健師等の確保に努めるが、保健指導対象者数を勘案し、医療機関等で特定保健指導が適正に実施可能と認められる場合、委託も考える。

新庁舎建設について

P川越21 中原 秀久

問 新聞報道で、川越駅西口にマンションと同居する三十階建てのシンボルタワーとしての新庁舎を二三年後に建設するとあるが、真意は。

答 土地利用、交通便利、他官庁との連携等に川越駅西口は適所と考える。費用の面から新庁舎を分譲マンションと合わせて建築するのも一つの方法である。第三次総合計画に基づき、狹隘・老朽化、耐震不足から本庁舎移転の検討を進めるが、財政の裏づけ、議会との協議や市民から広く意見を聴き、出来るだけ早期に着手したい。

問 市長の政治姿勢

問 まちづくり会社



西清掃センター解体

自民ク 神田 寿雄

問 西清掃センターは、長年にわたって稼働したために老朽化が進み周辺環境への悪影響が懸念される。極力早く解体すべきと思うが、いかがか。

答 西清掃センターは、新清掃センターが完成する平成二十一年度まで運転を継続した後解体する。

具体的には、国への財産処分申請とその承認、ダイオキシン類等のサンプリング調査、基本設計、実施設計等、準備に最低三年程度を要し、更に、実際の解体工事も単年度では難しいものと思われるため、解体準備から工事完了までに五、六年程度必要となる。

問 西清掃センター等の今後

経常収支比率の改善

民主党 片野 広隆

問 80%を超えると財政の弾力性が失われつつあるとされる経常収支比率が、本市は86.5%。目標値80%にする為の影響額と今後の取組みは？

答 経常収支比率を80%にするには、仮に平成18年度決算

をもとに試算をすると、歳出が減少しない場合、経常一般財源収入は、約50億円の増加が必要であり、歳入が増加しない場合は、経常経費充当一般財源の約40億円の減少が必要となる。経常収支比率の改善にあたっては、集中改革プランを確実に実施し、歳入歳出両面から今まで以上に取り組んで参りたい。

【問】平成20年度の予算編成

旧鶴川座の保存を

公明党 石川隆二

【問】市は旧鶴川座を中心市街地活性化の拠点とし、有効活用を検討して来た。早期に関係者と協議の上、復元、保存への取り組みを行うべきでは。

【答】旧鶴川座は、観光やまちづくりの拠点として有効活用すべきと考えている。

施設を整備する場合には、出来るだけ最小限の経費で実施出来るよう、事業手法についても慎重に検討しつつ、来年度以降についても基本設計、実施設計を実施し、出来るだけ早期の復元に向けた取り組みを行っていききたい。

【問】旧鶴川座の保存

【問】「市民歌」の制定

【問】ふれあい拠点施設整備事業

食の安全条例の制定

公明党 大泉 一夫

【問】川越市は中核市として、独立して保健所を設置する市であり、独自に食の安全安心条例を制定し、食の安全性に取組むべきではないか。

【答】平成十六年八月に埼玉県が制定した埼玉県食の安全・安心条例に基づき、県と同様に、食品の安全性及び食品に対する安心感の確保を図るため、監視指導や消費者への啓発に努めている。保健所を設置する市としては、県条例の基本理念にのっとり、引き続き、埼玉県と連携し、食の安全・安心の確保を推進するための施策を講じていく。

【問】市民スポーツ支援の推進

個人情報保護と活用

市民フォーラム 牛窪 多喜男

【問】いつ起きても不思議のない地震災害。その時避難誘導の困難な災害弱者の重度障害者、高齢者を救うため支援者リストを早急に作れないか。

【答】個人情報保護の点では、第三者への情報提供には、特段の配慮をする必要があるが、本人の利益にかなう目的で適正に利用するならば、平常時から市で管理する情報をもとに要支援者のリストを作成し、災害発生時は救済活動を行う組織の責任ある立場の方々に配布することは問題がないと考える。今後具体的な方法等について考えたい。

【問】川越市の教育への取り組み

学童保育事業

市民ク 川口 啓介

【問】今の学童保育室は現場責任者が明確でない。危機管理上、指導員にそれなりの賃金を支給し、責任者になつて頂くシステムを考えられないか。

【答】臨時指導員の時間あたり単価は、一般事務の臨時職員よりも高い単価となっており、現状において本市の賃金水準は決して低くはないと考えているが、現場責任者を置く指導員体制については、平成十七年度の包括外部監査で提言も頂いているため、他市の状況をよく調べながら、臨時指

導員賃金の改定と併せ、今後検討していききたい。

【問】学童保育事業

【問】フツ素洗口の実施

三線合同駅が前提だ

市民ク 菊地 実

【問】準備のない構想は市民を惑す。将来を見るなら西川越が適地。東上線に新駅、西武安比奈線を延長し三線連絡合同駅で市民や広域圏の利便を。

【答】市役所の位置について、川越駅西口は、地域振興ふれあい拠点施設に県の出先機関が入る予定であり、交通の事情、他の官公署との関係といった地方自治法第四条の条件に、最もあてはまると考えている。市役所を作るにはどうしたらよいか、いい案を募集して検討し、皆さんにお示し、ご意見をいただきたい。

【問】市長の市庁舎移転発言

【問】南公民館と福祉センター

【問】史跡河越館主重頼公の命日

青色防犯灯設置

啓政会 若海 保

【問】県内初の青色防犯灯が川越駅西口自転車置場に設置され、犯罪抑止効果が期待でき

る。今後他の地域や施設に普及させる予定はあるか。

【答】川越駅西口仮設自転車置場をモデル施設としてその効果を踏まえつつ、段階的に他の施設及び他の地域での整備の可能性を研究していききたい。

その際には、地域の犯罪情勢や青色の鎮静効果を得るための空間の確保、防犯意識の高い地域であることなど、一定の要件を定め、現状の対策にプラスした総合的な防犯対策として位置づける等の手法を取り入れるつもりでいる。

【問】安全・安心なまちづくり

名細地区の諸問題

啓政会 松井 釜太郎

【問】新清掃センターと仮称川越西公園の北側に当る小堤地区より公園に直接入れる橋を小畔川に架けるべきと思うが、市の考え方を伺いたい。

【答】現在、小堤地区から仮称川越西公園建設予定地である鯨井地区へ行くには、自動車、歩行者共に、小畔川に架かる主要地方道川越坂戸毛呂山線の八幡橋が市道〇〇八八号線の精進場橋を利用することになる。